

福岡県篠栗町

きまぐり

議会だより

No. 205



田園から望む
米ノ山・若杉山



今、前を向く

意見交換会 篠栗町料飲店組合 2

9月定例会決算認定 4

ここをどうする!?(7人が一般質問) 10

令和2年9月議会号

特集 意見交換会

今、前を向く

第18回

篠栗町 料飲店組合

町内の飲食店経営者の皆さんで構成される篠栗町料飲店組合。コロナ禍にあって、経営の苦勞や今後の組合の活動などを語っていただきました。

コロナ禍の影響は？

●4月から7月の売り上げの減少が著しくて、前年度比30%から55%減なんです。固定費もかかりますし、かなり厳しい状況です。営業時間が7時から12時までなんです。周りを見ても人が歩いていない様子もなく、寂しい思いをしながら、営業をしているような感じですね。

感染予防で困ったことは？

●いろいろ消毒液の情報に踊らされたりとか、エアコンをつけるのを密室になってしまっているというのがある。少し窓を開けっ放しにしておく快適な空間ではなく

るっていうのがあります。

●虫が入ってきたりとか、そんな困ったところが出てきた感じですかね。

テイクアウト・デリバリーの取り組みはどうでしたか？

●「エール飯」を地域おこし協力隊の溝口さんが一緒に発信してくれて、その上に、町がクーポン券を出してくれましたよね。

糟屋郡内で篠栗だけだったんですよ。よその町の組合も羨ましがするようなことをしてくれただけ、ものすごく効果はあったと思います。

でも、デリバリーとかテイクアウトに切りかえられるのは居酒屋

さんまでぐらいなんですよね。ス

ナック関係は、雰囲気を楽しんでもらう店ということだから、組合全体が潤っているかと言ったら、ちょっと、物足りなかったかなっていうのが正直な印象ですね。

——延期になっている第2弾クーポン券「さきグルメ」が、第1弾で出来なかった面を、カバーできるといふことですね。——

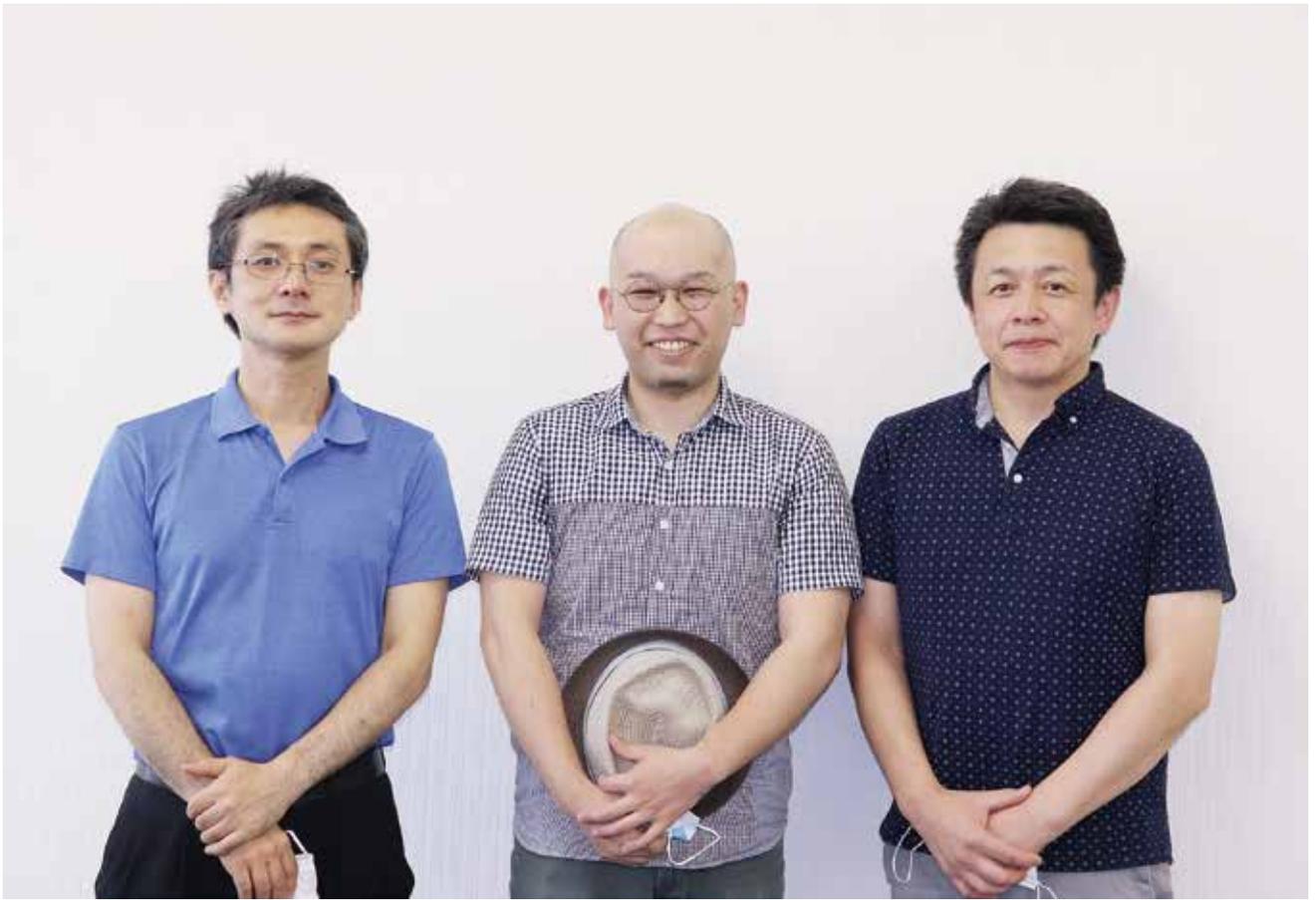
●お客さんの半分以上が観光の方で、クーポンを配ってもリピーターとしてはほとんど使っていないだけなので、効果が薄かったかなとは思っています。

町の支援策への評価は？

●テイクアウト事業に関して、この町もしていないクーポン券を出してくれたら、1人10万円の給付金でも、他町のひとから言わせればびっくりするぐらい早かった。それはもう、本当に助かっているっていうことですね。

今後の対策は？

●消毒業者の人に、組合を一つの団体として扱ってもらえないだろうかという感じで、お願いをしています。



吉田屋 吉田 太郎さん

SONORA 阿高 正法さん

宝寿司 飯田 浩二さん

これまでの組合の取り組みは？

●3年前から、駅前を元気づけた
 といった意味合いで、商工会の
 屋上でイベントを行っていて、皆
 さんから好評だったので、勢いづ
 けて今年もするつもりだったんで
 すが、それも今年は中止しました。

魅力的な町にするには？

●「もっと魅力的な町にするに
 は」っていうところと、「町に人を
 呼び込むためには」って、すごく
 リンクしているところがあると思
 うんです。どんな魅力をつくり上
 げるのかは、ターゲットがどこに
 向いているかによって違ってくる
 と思うので、まずターゲットを絞っ
 ていくのが大事なのかなというふ
 うに思っています。

町や議会に望むことは？

●いろいろな事業や取り組みのとき
 に、お金がないとできないことも
 多いと思うので、そういう税収が
 増えるような、財源が確保できる
 ような施策をやっていただければ

なと思います。

さまざまなイベントや企画が中
 止される中、まちの賑わいを消さ
 ないために、前向きに頑張る料飲
 店組合の皆さん。

篠栗のB級グルメを開発する計画
 もあったそうですが、これもコロナ
 禍で立ち消えになったそうです。

コロナが収束したら、また、楽
 ませていただきたいと思ってお
 ります。

B級グルメ、待っています。

ありがとうございます。

令和元年度 決算の認定

令和元年度完了事業現地視察

令和2年7月29日（水） 場所：北地区産業団地ほか

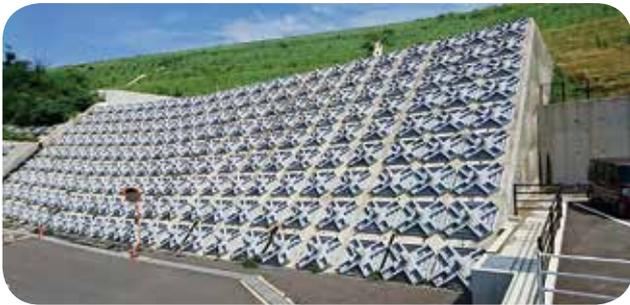
令和元年度に完了した工事個所の視察に行き、井堰や産業団地を中心に説明を受けた。町の予算が執行され実物を見ることで議員として身の引き締まる思いであった。



篠栗北地区産業団地1号調整池築造工事 1億6787万円
 篠栗北地区産業団地2号調整池築造工事 1億9710万円
 篠栗北地区産業団地土留擁壁築造工事 4億 90万円



広田井堰災害復旧工事 2955万円
 広田井堰災害復旧関連工事 644万円



津波黒法面補強工事 10億 661万円
 津波黒法面補強工事(その2)工事 3863万円



篠栗駅東側自由通路線周辺整備(その2)工事 8750万円

特別会計・公営企業会計決算

(百万円未満四捨五入 単位：円)

会 計	決 算 額		対前年度増減	
	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出
国民健康保険特別会計	27億7700万	28億6100万	△7100万	△1億 700万
後期高齢者医療特別会計	4億2200万	4億1900万	2100万	3100万
北地区産業団地整備事業特別会計	2億7500万	4億 600万	△8億9100万	△6億4300万

会 計	区 分	決 算 額		対前年度増減	
		収 入	支 出	収 入	支 出
流域関連公共下水道事業会計	収益的収入及び支出	9億1500万	8億5100万	△2700万	△1300万
	資本的収入及び支出	4億7800万	6億6100万	2500万	6000万
水 道 事 業 会 計	収益的収入及び支出	5億6200万	4億9000万	4400万	△7000万
	資本的収入及び支出	1億 400万	2億1300万	2800万	3400万

令和元年度 決算審査報告

一般会計・特別会計・上下水道事業会計

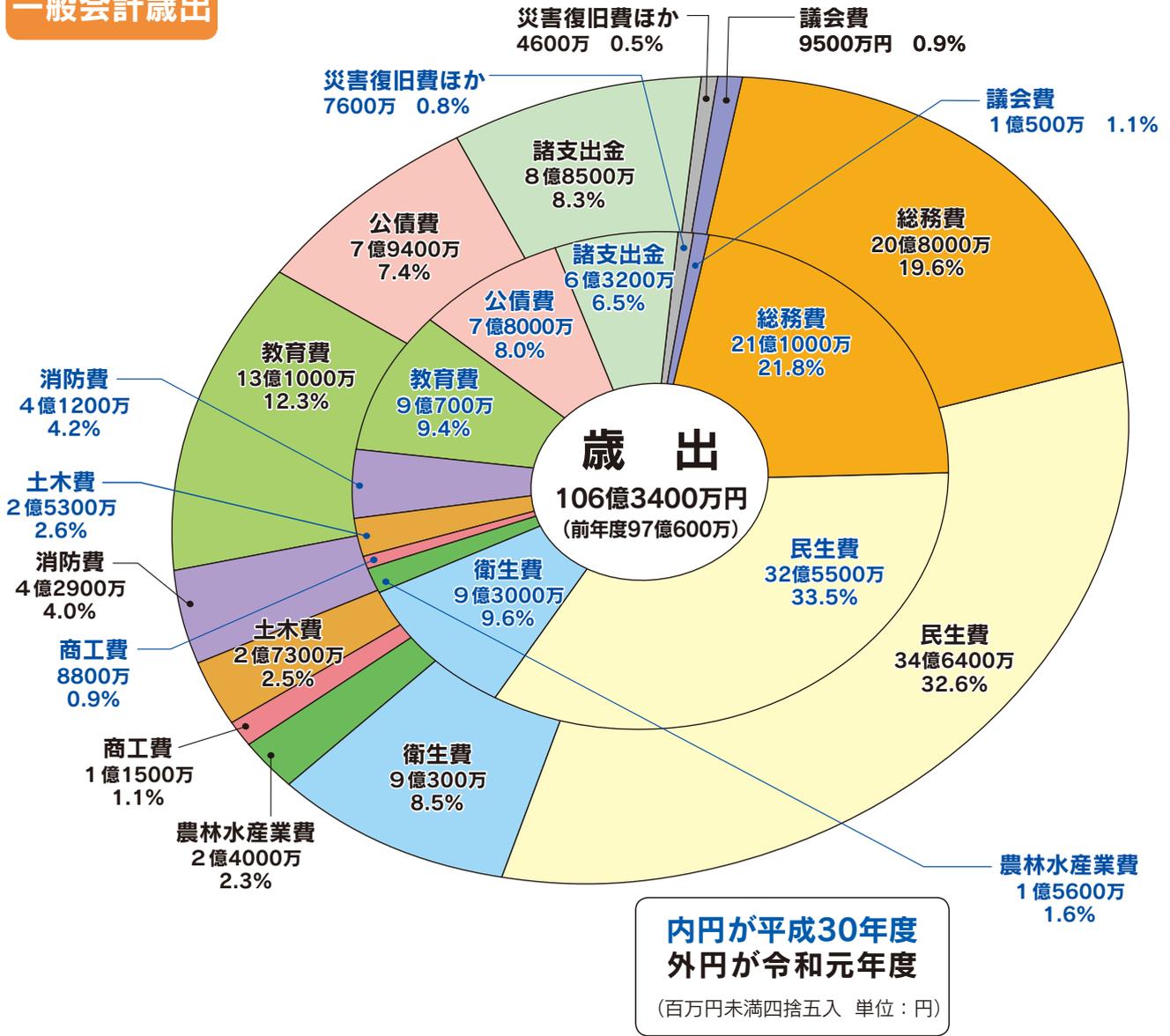
監査委員 今長谷 潔 今長谷 武和

令和元年度各会計の歳入歳出決算書は、関係法令に準拠して作成されており、その決算計数は、関係諸帳票及び証憑書類と合致して、正確であることを確認した。
 また、予算の執行・収入支出事務の処理及び財産管理は、例月現金出納検査、定期監査等を通して監査した結果、概ね適正であった。

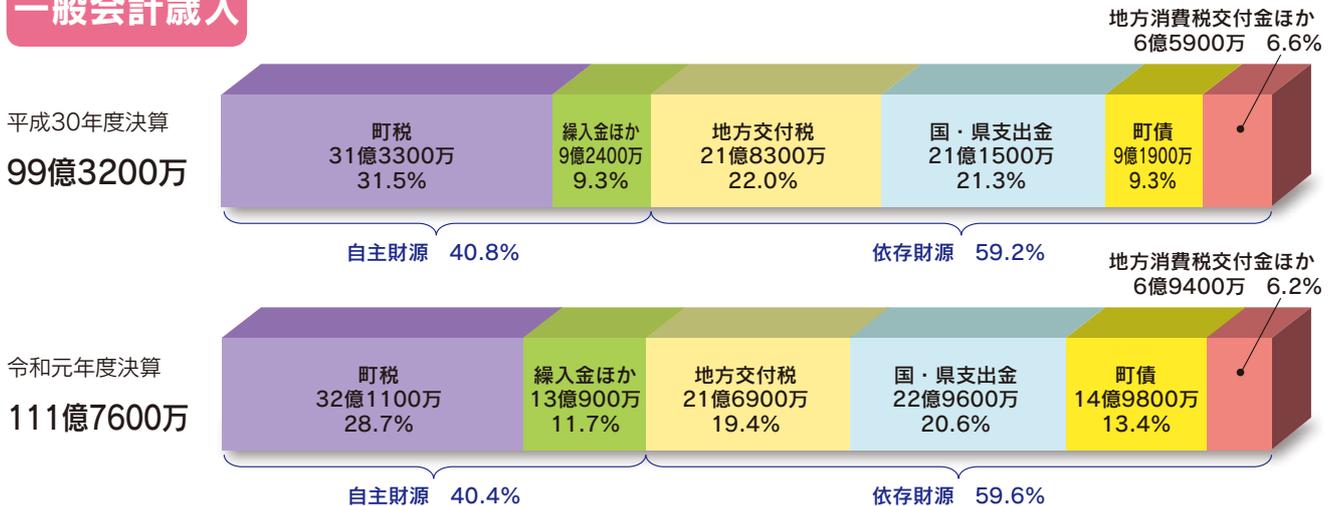
9月定例会

9月2日から9月11日まで、10日間の会期で開催しました。
 総務建設・文教厚生常任委員会、予算・決算特別委員会において、
 町長提出の条例案や補正予算、決算など計25議案を審査しました。
 そのほか、意見書案1件がありました。
 各議案に対する賛否一覧を9ページに掲載しています。

一般会計歳出



一般会計歳入



人事

篠栗町固定資産評価審査委員会委員の選任

○小林 知生氏



現委員、萩尾勝男氏の任期満了により選任。任期は令和2年10月1日から3年間。

篠栗町教育委員会委員の任命

○藤 俊広氏



現教育委員、林巖氏の任期満了により任命。任期は令和2年10月1日から4年間。

人権擁護委員を推薦

○郡嶋 正弘氏（再任）

任期は法務大臣が委嘱した日から3年間。

条例

住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

住居表示実施区域内で変更となる住所について、改正を行うもの。

令和2年10月10日から施行。

事業の効率化を図る

篠栗町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

（議案第66号）

問 現状は。 答 現行、支援員の数は支援の単位ごとに2人以上であるが、利用者が10人以下となる時間帯において、町長が認める時は支援の単位ごとに1人にする事ができる。

問 現状は。 答 夕方5時過ぎには、児童が2〜3人になることもある。

令和2年4月1日から適用。

中学生の通院を支給対象に

篠栗町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定

（議案第69号）

福岡県子ども医療費支給制度について子ども医療費の支給に関する条例準則が改正されたことから、本条例の一部を改正するもの。

篠栗町では、「中学生の入院」については、平成28年10月1日から既に支給の対象となっており、新たに「中学生の通院」を1600円/月（上限）として支給対象に加える。

令和3年4月1日から施行。

改定対象一覧

施設名	改正前	改正後
篠栗中学校及び体育館	篠栗町大字篠栗4727番地	篠栗町中央三丁目3番1号
篠栗中学校グラウンド	篠栗町大字篠栗4727番地	篠栗町中央三丁目4694番地1
中町集会所	篠栗町大字篠栗4451の2	篠栗町中央六丁目11番12号
中町健康広場	篠栗町大字篠栗4943番地1	篠栗町中央二丁目4943番地1
篠栗町立やまばと児童館	篠栗町大字篠栗4290番地1	篠栗町中央三丁目16番12号

その他

篠栗北地区産業団地における事業用地の面積・売却額及び所在地の変更

財産の処分の変更

(議案第74号)

面積 8434㎡を

8359.92㎡に変更

売却額 4億円を

3億9620万2008円に変更

所在地

「篠栗町大字津波黒字高辻346番5
外1筆のうち」を

「篠栗町彩り台346番10」に変更

意見書の提出

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしている。

このような状況のなかで、地域の実情に応じた行政サービスを安定的・持続的に提供していくために、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を強く求める意見書を国に提出した。

各会計補正予算 (議案第81号～83号)

会計別の補正予算額は下記のとおり。一般会計の主な補正については別表1・2のとおり。
後期高齢者医療特別会計については令和元年度の保険料・滞納繰越額の確定に伴う保険料等負担金及び人件費の補正。下水道事業会計については営業費用の補正によるもの。

(万円未満四捨五入)

会計	補正額	補正後予算額
一般会計	1億8031万円	137億3562万円
後期高齢者医療特別会計	742万円	4億3028万円
下水道事業計	収益的支出 114万円	8億8415万円

(表1) 歳入の主なもの

町税 (新型コロナウイルス感染症の影響により徴収猶予の特例を適用し、許可したものについて減額)	△3023万円
地方交付税 (普通交付税での財源調整ほか)	△9143万円
国庫支出金 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金ほか)	9082万円
県支出金 (農林水産業費県補助金ほか)	2919万円
繰入金	△3億円
繰越金	3億9166万円
町債 (臨時財政対策債・徴収猶予特例債ほか)	7930万円

(表2) 歳出の主なもの

総務費 情報システム管理費 (リモートワーク環境整備事業ほか)	5211万円
総務費 戸籍住民基本台帳費 (コンビニ交付実証事業システム導入委託料)	956万円
民生費 社会福祉総務費 (天空会館空調設備工事)	1625万円
民生費 障がい者福祉費 (自立支援サービス事業等国庫補助金返還金ほか)	2079万円
衛生費 総合保健福祉センター運営費 (オアシス篠栗駐車場改修工事)	2500万円
農林水産業費 林業振興費 (荒廃森林再生事業費ほか)	2254万円
教育費 各小・中学校費 (新型コロナウイルス対策備品ほか)	3046万円

災害復旧工事費等の専決処分を承認 (議案第59号)

7月豪雨災害で、林道小葉山線の法面が崩落したため、測量・設計委託料及び工事請負費として1349万円を増額補正した。

補正予算

臨時会

6月臨時会

6月25日に臨時会が開催されました。
 新型コロナウイルス感染症拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援のための補正予算案が提出され、原案のとおり可決しました。

コロナウイルス対策に 5574万円

一般会計補正予算(第3号) (議案第54号)

- 主な補助金・助成金はつぎのとおり
- 医療機関緊急支援助成金 860万円
 町内医療機関。歯科診療所及び調剤薬局に助成金を交付。
- 素材生産事業補助金 360万円
 木材需要が減少し、原木価格が大幅に下落したため素材生産量1㎡当たり2000円を補助。
- 飲食店利用促進補助金 948万円
 飲食店でクーポン券(割引券)を発行。
- 感染症予防対策費補助金 750万円
 サービスの提供を受ける人(来店者等)が密集や長時間の滞在をする小売業(飲食店を含む)において、事業主が感染症予防対策に要した費用を5万円を上限に補助。

7月臨時会

7月8日に臨時会が開催されました。
 財産の取得について1件、財産の処分の変更について1件、補正予算が2件、計4件を審査し、全ての議案を原案のとおり可決しました。

小中学校の児童生徒に一人一台のパソコン端末を整備

財産の取得 (議案第55号)

小中学校の児童生徒に一人一台のパソコン端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するもの。

契約先	株式会社 麻生情報システム 飯塚事業所
契約金額	1億2799万7430円
取得する財産	パソコン端末 2859台
納期	令和3年3月15日

篠栗北地区産業団地における事業用地の面積・売却額及び所在地の変更

財産の処分の変更 (議案第56号)

面積	1万3588㎡を 1万3588.01㎡に変更
売却額	6億7260万6000円を 6億7260万6495円に変更

所在地

「篠栗町大字津波黒字高辻346番5」を「篠栗町彩り台138番4の一部及び346番5の一部」に変更

委員会研修

常任・議会運営委員長・副委員長研修会

8月21日 福岡県自治会館

「地方議会をめぐる諸問題と委員会の進め方について」

講師 元全国都道府県議会議長会事務局次長

内田 一夫氏

議員の役割や議員に求められているものなどを再度確認することができた。



議決結果一覧表

	議案番号	議案名	議決結果
臨時会 6月	54	令和2年度篠栗町一般会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
7月臨時会	55	財産の取得について	全員賛成可決
	56	財産の処分の変更について	全員賛成可決
	57	令和2年度篠栗町一般会計補正予算（第4号）	全員賛成可決
	58	令和2年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
9月定例会	59	専決処分の承認を求めることについて（専決第7号） [令和2年度篠栗町一般会計補正予算(第5号)]	全員賛成承認
	60	篠栗町固定資産評価審査委員会委員の選任	全員賛成同意
	61	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全員賛成同意
	62	篠栗町教育委員会委員の任命	全員賛成同意
	63	篠栗町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定	全員賛成可決
	64	住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員賛成可決
	65	篠栗町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	66	篠栗町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	67	篠栗町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	68	篠栗町児童館設置条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	69	篠栗町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	70	篠栗町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	71	篠栗町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	72	篠栗町下水道条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
	73	篠栗町私立幼稚園の授業料等の減免に関する条例を廃止する条例の制定	全員賛成可決
	74	財産の処分の変更について	全員賛成可決
	75	令和元年度篠栗町一般会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
	76	令和元年度篠栗町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
	77	令和元年度篠栗町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
	78	令和元年度篠栗町篠栗北地区産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
	79	令和元年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	全員賛成認定
	80	令和元年度篠栗町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	全員賛成認定
	81	令和2年度篠栗町一般会計補正予算（第6号）	全員賛成可決
	82	令和2年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
	83	令和2年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
	意見書案 第1号		新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

7人が一般質問

7人が一般質問

1. 荒牧 泰範 議員…………… 11
 - ・ 北地区産業団地の起債償還計画は
 - ・ コロナ禍での学校本来の目的達成を願う
2. 田辺 弘之 議員…………… 12
 - ・ GIGAスクールの取り組みは
3. 松田 國守 議員…………… 13
 - ・ 第2期「篠栗町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について問う
4. 横山 和輝 議員…………… 14
 - ・ プロポーザル後に国から開発許可が「NO」と言われたらどうするつもりだったのか
 - ・ 町長の資産公開の周知を図る必要があると思うが
5. 品川 静 議員…………… 15
 - ・ 新型コロナと災害、避難をどうするのか
6. 藤木 高裕 議員…………… 16
 - ・ オンライン教育実施は
 - ・ 教員の業務軽減になるのか
7. 今長谷 武和 議員…………… 17
 - ・ 新型コロナウイルスに伴う対応と対策は

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、質問者本人の原稿をもとに作成しています。議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。



荒牧 泰範

北地区産業団地の起債償還計画は

町長「進出企業からの税收等で賄える見込み」

問……………

九州大学から1億6793万円で購入し開発している産業団地だが、これまでに開発事業等で特別会計から40億1754万円に加え、一般会計や企業会計分で総事業費は55億9785万円に上る。

これに対し、用地売却収入が31億4600万円で交付税算入額を差引くと約20億円の大赤字となる。

この莫大な負債が一般会計に編入されてうやむやにならないよう、償還完了まで特別会計を閉じることがないようにお約束していただき償還計画を示されたい。

現況では事業用地3の売却が

難しい状態で、合計28億3500万円ほどの負債となった場合は財政的に乗り切れるのかも尋ねる。

赤字は出さないよう申し入れていたにもかかわらず、平成27年9月に「大きな赤字を出してまで考えていない」が、30年9月では「住民対策工事が膨らんだ」になり諸々増額され、結果大きな負債となったが町長として責任をどう考えておられるのかを問う。

答【町長】

特別会計の起債は、平成30年度借り入れの8億1860万円である。令和6年度から25年間、毎年約3300万円償還し、一般会計と区別すべき性質であり、償還終了まで特別会計の廃止はしない考えだ。

事業用地3が売却に至らなかった場合は、一般会計に影響しないよう会計手法を練った上で議会に諮りたいと考える。

私の過去の発言の件は、当初の想定からさまざまなコストが増加したのは事実だ。しかし、その時点時点で売却収入や操業

後の税收・雇用の確保を見通し、事業を推進すべきと総合的に判断した。

協定や契約を取り交わしている企業が撤退するのではないかとのもあるやに聞いているが、企業の社長様と直に面談して、必ず進出する計画であるという力強い言葉をいただいている。

私の責任については、町の将来の財源を生み出す大事な財産となるためにも、進出企業の操業開始まで主体性を持って進めなければいけない事業と考える。

コロナ禍での学校本来の目的達成を願う

教育長 「詳細に校長から意見を聞き反映させる」

GIGAスクールの取り組みは

教育長「パソコン整備が完了することを前提に方法と内容を検討していく」



田辺 弘之

問 篠栗町では、GIGAスクールの実施のため、4年間かけて小中学生全員にパソコンを1台ずつそろえる計画であったが、国はコロナ禍などの状況が発生した時のことも考え、今年度中に全国の小中学校に1人1台の配備を前倒しする予算を組み、町もそれに応じて2020年度内にその環境が整うこととなった。

今後、これらの資材を活かすために、次の質問を行う。

① 教員の負担を軽減するために、も文部科学省は2022年までに4校に1人のICT支援員の配置を目指しているが、ICT支援員もしくは教育情報化コーディネータの配置の予定は。

② 教員がICT(情報通信技術)を効果的に活用して、指導力を高めていくための取り組みは。

③ 来年度から中学校で使用される教科書が決まったが、「学習用デジタル教科書」としてオンライン学習に対応できるのか。

④ 2年前にランドセルが重いので改善できないかの質問をした。将来的に全教科デジタル化できた場合、パソコンの持ち帰りで軽量化を図ることができるのか。

【答】教育長
① 現時点においてはパソコン導入業者や学習支援ソフト制作会社の支援を受けている。必要な支援内容を検討した上で、ICT支援員の導入を図りたい。

② 各学校の教職員の操作能力の実態把握を行い、活用力向上の研修等の計画を立案し実施したい。

③ 現在、無償給付される教科書は紙の教科書のみである。将来、学習用デジタル教科書の無償給付に移行した後に考えるられる。

④ 学習用デジタル教科書の導入により動画や参考資料などのデジタル教材との一体的使用で、教科書および各種教材はパソコン1台に変えることが可能となるが、いくつもの段階を経る必要があり、一気に変わることはない。

問 PTAの中にはコンピュータのプロもいると思うが、ボランティアとして活用は。

【答】教育長
 ICT支援員などは国の検定などが必要であり、資格を持つ方があれば活用することも可能。



(*) GIGAスクール義務教育を受ける児童生徒に1人1台の端末と、学校に高速大容量の通信ネットワークを整備することで、公正に個別最適化され、資質能力を育成できる教育環境を実施するため文部科学省が推進しているGIGA(Global and Innovation Gateway for All)スクール構想のよう。

第2期「篠栗町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について問う

町長「SDGsとの連携を考え、基本目標を着実に進める」



松田 國守

問……………

町長は4期目のスタートである平成28年第4回定例会における就任あいさつの中で、「これからの10年間の努力で篠栗町の将来が決まる」と述べられた。具体的には、篠栗町地方創生Ⅱ「篠栗町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の完遂、企業立地による税収増加や雇用機会の増大と働き世代人口の流入等による自主財源比率の向上を目指すと言われた。

頑張ることを自らの覚悟を示された。

そして2015年度（平成27年度）からの5年間、北地区産業団地開発をはじめ、さまざまな事業を進めてこられた。その第1期の経過を踏まえて、2020年度（令和2年度）からの第2期「篠栗町まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートした。これには四つの基本目標（SDGs）との連携を持たせながら進めようとするもので、この第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にかけた町長の思いをお聞かせいただきたい。

答【町長】

第1期の四つの基本目標を継承しながら、第2期「篠栗町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、

- ①若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える
- ②活力ある地域社会を作る
- ③安定した雇用を創出する
- ④まちに人を呼び込む

この四つを基本目標として、持続可能な開発目標（SDGs）との連携を考え、町民全体で取り組む課題をいくつも上げていくところである。

これからの総合戦略の施策を遂行するにあたり、職員の奮起を促すためにも高い意識をもって取り組む必要があると考えている。

これからも2060年の将来人口目標2万9000人を目指して、その礎になるために第2期の基本目標を着実に進めてまいります。

SDGs

「誰ひとり取り残さない社会の実現」を目指し、貧困や格差、気候変動などの課題解決に向け、国連加盟国が2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の17の目標と、それを達成するための具体的な169のターゲットと232の指標で構成される。

プロポーザル後に国から開発許可が「NO」と言われたらどうするつもりだったのか

町長「この事業を解消するだけの話だと思うが」



横山 和輝

問 産業団地の工事はすでに終了しているが、6事業用地のうち全ての区画が売却できたとしても、19億円近くの赤字を出すことがはつきりしているうえ、2区画が売れ残るとなると、町の負債は30億円以上に跳ね上がることは明らか。開発等の事業を行うときは、事業の大小にかかわらず、開始前に入念な検討が必要なのは常識であり、この事業はスタート地点から問題があったと思っている。

答【まちづくり課長】内容は平成27年度に入ってからどのような形態が町にふさわしく将来性があるのかについてであり、メンバーは当時の副町長、財政課長、まちづくり課長、産業観光課長、都市整備課長である。

問 丘陵地であり、ボタ山跡地の地滑り地帯となれば検討時に地質調査は必要。なぜボーリング調査が行われなかったのか。

答【まちづくり課長】設計を進めていく段階で必要なポイントで地質調査を行っていく選択に至った。

問 検討時に採算面は取れていたのか。

答【まちづくり課長】造成費用は算出されていなかった。その点はまだ検討の段階ではなかった。

問 収支を出したのは、プロポーザル時の概算が最初だという認識でいいか。

答【町長】鹿島グループの提示を受けた概算で決定し、事業パートナーとして契約をした。

問 開発を行う際、真っ先に行かなければいけないのは周囲の地権者との同意である。プロポーザルを結んだ後に国が開発許可を出せないと言われたらどうするつもりだったのか。

答【町長】「もっこれは無理だ」ということで、この事業を解消するだけの話だと思うが。

町長の資産公開の周知を図る必要があると思うが

総務課長「ホームページ等による公開を検討する」

問 資産公開は、総務課で閲覧することができるが、閲覧者は年に1、2名程度である。この条例が知られていないと思うので、ホームページに掲載し、広報紙にも載せ周知を図る必要があると思う。

答【総務課長】広報での周知により反応を踏まえ、ホームページ等による詳細な内容の公開を検討する。

新型コロナと災害、避難をどうするのか

総務課長「感染症対策版マニュアルを策定し対応している」



品川 静

本年度から地域防災リーダー養成講座の受講者向け補助金を創設した。防災士育成の取り組みで自主防衛組織の



防災士を目指す方を対象に行われた女性消防隊による救命講習

問 大規模災害が多発しているが、新型コロナウイルス感染症の複合災害に備えなければならず、防災は新しい局面を迎えている。密集しがちな避難所では、感染リスクが懸念される。そこで、感染症を踏まえた防災として「避難」について質問する。

答 【総務課長】

① 避難所での感染予防の現状と対策

①「篠栗町避難所運営マニュアル別冊（新型コロナウイルス感染症対策版）」を策定し、職員および各区長に事前に周知している。

② 密集を軽減するための「分散避難」について、避難所をどう増やすのか、「在宅避難」「車中避難」の取り組みや対応

② 避難所での感染症対策物品は配備済みであり、発令警戒レベルに応じて職員を増員するなど感染症対応力を強化している。

③ 福祉避難所の課題や改善策

③ 福祉避難所指定のオアシス篠栗は簡易ベッドを購入し、要配慮者受け入れ体制を改善した。

活性化を図りたい。

要望

③ 福祉避難所指定のオアシス篠栗は簡易ベッドを購入し、要配慮者受け入れ体制を改善した。

社会教育総合センターは通常研修などの受け入れがあり、早急な開設ができない状況にある。今後、新たな福祉避難所の設置やさらなる避難環境改善を検討する。

まちづくり課と女性消防隊主催の「防災塾」修了者は、安全な地域づくりに貢献したいという意欲的な女性が集まっていった。その方々に防災士育成事業の情報が届いておらず、防災事業に関してもこれまで起用がないのはとても残念である。多様な人材を防災対策に活かして災害に強い地域づくりにつなげていただきたい。

オンライン教育実施は

教育長「条件が整えば可能となるので準備を進めていきたい」



藤木 高裕

問 緊急事態宣言の中では、ほとんどの学校が授業を行わずプリントで課題を出し、学校再開後、急ピッチで授業を進めている。今後、コロナの感染によって2週間以上休校になった場合、各教科の学習はどのように進めるのか。また、オンライン教育実施の準備は整っているのか。

答【教育長】 パソコンの配備やネットワーク環境の整備が進んでいない状況であれば、前回の休校と同様に、教科書や課題のプリント、ワークブック等による家庭学習が中心になると考えられる。現在、1人1台パソコンの通信ネットワークの整備を進めているところである。パソコンが整備され、必要な通信環境が整えば、教員に対する一定の研修を行えば、オンラインによる授業も可能となるので、準備を進めていきたいと考えている。

問 何かが整ってからやるのでは遅いと思う。オンライン授業は、やりながら学んでいくことが多い。一度試してみて、ノウハウをつけていくのが理想だと考える。教育長の見解を求める。

答【教育長】 先進的にやっている学校の具例を活用できるのか試行的に進めながら、できるところをやっていくというふうなことは、今後考えられると思っています。

教員の業務軽減になるのか

教育長「総合型校務支援システムというものがある」

問 GIGAスクール構想には、子どもたちの教育面の向上ばかりでなく、教員の学校における働き方改革にもつながると書かれている。どのようなものが効率化すると考えられるか。またICT教育強化に向けて、町としてのフォローやバックアップ体制は、実施または計画されているか尋ねる。

答【教育長】 先進的に取り組んでいる自治体では、総合型校務支援システムを導入している。これには学籍、出欠、成績、教育課程、保健、危機管理など多くの機能が入っている。これにより、さまざまな校務の負担軽減につながると考えている。他町の動向を見ながら検討していきたい。現在においても、ICTの有効な活用方法について定期的に内外の研修を行っている。さらなる研修体制の強化、充実を多様な視点から検討していきたい。

新型コロナウイルスに伴う 対応と対策は

町長「今後も短期的及び長期的に取り組む」



今長谷 武和

問……………

新型コロナウイルス定額給付金支払いについて、迅速な対応に町民の皆さんから感謝の言葉をたくさん聞いている。職員の方には長期間の労をねぎらいたい。町独自の経済対策を実施され店舗、企業の方からも感謝の声が聴かれる。

糟屋郡の感染数は現地時点で230名以上となっており、町内でも感染拡大傾向にある。まだまだ先の見えない現状の中、今後も短期及び長期にわたる町の取り組みが必要と考える。

答【産業観光課長】

町として新型コロナウイルス感染症対策をさまざまな分野で実施している。

すでにデリバリー・テイクアウト促進事業、小規模事業者緊急支援補助金は終了し、感染予防対策費補助金、宿泊促進事業、プレミアム商品券、素材生産事業などを継続して行っている。

しかし、感染拡大の報道が続き、ウィズコロナ、アフターコロナといった新しい生活様式への転換が求められ、規模が小さく、急な対応が難しい事業者は厳しい状況が続いている。

宿泊促進事業は旅館組合との協議の上、11月末まで延長し、「やまぐるメ」についても事業実施適期を判断し行う。店舗を継続していくために必要な支援を検討していきたい。

問……………

保育所、幼稚園、学校で感染者が発生した場合のマニュアルは作成されているか。

答【教育長】

文部科学省のガイドラインに沿った統一マニュアル、保育所ではそれぞれマニュアルを作成し利用者に公表している。

マニュアルでは、本人または家族が陽性となった場合、濃厚接触者となった場合、発熱等の症状がみられる等、状況に応じて対応を定めている。

保護者や子どもの心身のケアに関しても、感染した方々への差別、誹謗中傷が起こらないよう、各校で人権学習を実施し、マニュアルにも記載し、保護者への啓発も行っている。

問……………

小中学校が長期休業となったが標準授業時数はカバーできるか。

答【教育長】

夏休みの短縮、行事の見直し、7時間授業の設定で時数は確保できる。

輝くまちの宝

のびのびクラブ、再開！



9月17日、オアシス篠栗2階のびのびルームで3歳～就園前クラスのお子さんとお母さんが仲良く遊びを楽しんでいます。



福岡県町村議会議長会 職員募集

● 採用予定数 1名（一般事務） ● 申し込み受付期間 令和2年11月17日まで

申し込み ● 問い合わせ先

福岡県町村議会議長会事務局 TEL 092-651-2958 (<https://f-chousongichoukai.seesaa.net>)

旬花衆灯

昨年（今頃のこと）...

糟屋地区美術展を鑑賞する機会を得た。力作揃いで甲乙つけ難く、わが感性の凡庸さを悟ったが、心に残る作品との出会いもあった。

「初恋」

島崎藤村の若菜集に収められた一篇を揮毫されたものだが、一文字ひと文字の初々しさと作品全体が醸し出す雰囲気、懐かしい気持ちを想い出した。

今年の糟屋地区美術展は、11月25日から12月1日までサンレイクかすや（粕屋町）で開催される。世の中はコロナ色だが、心を潤すひとときを過したい。

村瀬 敬太郎

12月議会は

12/3(木) 開会

12/7(月) 一般質問

の予定です

発行責任者 議長 阿部 寛治

議会広報広聴委員会 委員長 栗須 信治／副委員長 品川 静
委員 村瀬 敬太郎・田辺 弘之・横山 和輝・藤木 高裕

令和2年11月1日発行

発行／篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町中央一丁目1番1号 TEL092-947-1390 FAX092-947-1442 印刷／(株)三光